



ストレージバックエンド Astra Automation

NetApp
September 02, 2026

目次

ストレージバックエンド	1
Astra API (ACC) ストレージバックエンドエンドポイント	1
新しいストレージバックエンドを作成する	1
パラメータ	1
要求の本文	1
応答	3
応答	10
応答	10
応答	11
応答	12
エラー	12
用語の意味	13
すべてのストレージバックエンドを一覧表示します	15
パラメータ	15
応答	16
応答	17
応答	17
応答	18
エラー	18
用語の意味	19
ストレージバックエンドを取得する	28
パラメータ	28
応答	28
応答	35
応答	35
応答	36
エラー	37
用語の意味	37
ストレージバックエンドを変更する	39
パラメータ	39
要求の本文	39
応答	46
応答	46
応答	47
応答	47
応答	48
エラー	49
用語の意味	49
ストレージバックエンドを削除	50

パラメータ	51
応答	51
応答	51
応答	51
応答	52
エラー	53
用語の意味	53

ストレージバックエンド

Astra API (ACC) ストレージバックエンドエンドポイント

ストレージバックエンドAPIは、管理対象クラスタおよびアプリケーションで利用できる、ストレージサービスプロバイダ（ストレージバックエンド）の表現へのアクセスを提供します。

新しいストレージバックエンドを作成する

POST /accounts/{account_id}/topology/v1/storageBackends

作成するStorage Backend APIリソースの希望値を指定します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path（パス）	True	包含するアカウントリソースのID • 例：{{.Account}}

要求の本文

作成するStorage Backend APIリソースの希望値を指定します。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • 「application/astra-storageBackend」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2" • "1.3"

Name	を入力します	必須	説明
backendName	string	False	ストレージバックエンドのユーザー指定名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
backendType	string	True	表現されているストレージバックエンドのタイプを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「ontap」 - ストレージバックエンドはNetApp ONTAPシステムを表します • enum: ["ontap"] • 例：ONTAP
backendVersion	string	False	表現対象のストレージバックエンドのバージョンを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
backendCredentialsName	string	False	ストレージバックエンドで使用される1つ以上の認証情報リソースの名前を示す値を含むJSON文字列。複数の認証情報オブジェクトが同じ名前を持つ場合に、認証情報のローテーションを可能にします。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

Name	を入力します	必須	説明
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-storageBackend",
  "version": "1.3",
  "backendName": "st1-45",
  "backendType": "ontap",
  "backendCredentialsName": "st1-45-cred"
}
```

応答

Status: 201, Returns the newly created storageBackend resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： 「application/astra-storageBackend」

Name	を入力します	必須	説明
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2" • "1.3"
ID	string	True	リソースのグローバル一意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
backendName	string	True	ストレージバックエンドのユーザー指定名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
backendType	string	True	表現されているストレージバックエンドのタイプを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「ontap」 - ストレージバックエンドはNetApp ONTAPシステムを表します • enum: ["ontap"] • 例：ONTAP
backendVersion	string	True	表現対象のストレージバックエンドのバージョンを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

Name	を入力します	必須	説明
backendCredentialsName	string	True	ストレージバックエンドで使用される1つ以上の認証情報リソースの名前を示す値を含むJSON文字列。複数の認証情報オブジェクトが同じ名前を持つ場合に、認証情報のローテーションを可能にします。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
configVersion	string	False	ストレージバックエンドで使用されるアクティブな構成を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
状態	string	True	ストレージバックエンドの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「検出済み」 - ストレージバックエンドが管理対象クラスタから検出されました • 「running」 - ストレージバックエンドは正常に動作しています • 「不明」 - ストレージバックエンドの状態を判断できません • 「failed」 - ストレージバックエンドが利用できない状態です

Name	を入力します	必須	説明
stateDesired	string	False	ストレージバックエンドの望ましい動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： ・「実行中」 - ストレージバックエンドは通常の実行状態になります
stateUnready	array[string]	True	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、ストレージバックエンドが「実行中」に移行できない理由、「失敗」または「不明」に移行した理由、および/または「失敗」に移行する危険性がある理由を示します。定義された値は次のとおりです： ・ 最小長さ：1 ・ 最大長さ：127
managedState	string	True	ストレージバックエンドの管理状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： ・ 「pending」 - ストレージバックエンドは、検出または追加される予定です。 ・ 「管理対象外」 - ストレージバックエンドは「検出済み」状態であり、管理対象外ですが、管理対象にすることができます ・ 「managed」 - ストレージバックエンドは「running」または「unknown」の状態であり、管理下にあります。

Name	を入力します	必須	説明
managedStateUnready	array[string]	True	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、ストレージバックエンドが管理対象外である理由を示しています。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127
healthState	string	False	ストレージバックエンドの健全性状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため） • 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。 • 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。 • 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない
healthStateUnready	array[string]	False	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、ストレージバックエンドが正常な状態にない理由を示しています。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
protectionState	string	True	ストレージバックエンドの保護状態を示す値を含むJSON文字列。ONTAPの場合は「unknown」。定義された値は次のとおりです： • 「保護されている」 - ストレージバックエンドには保護ポリシーが定義されており、そのポリシーに準拠している • 「部分的」 - ストレージバックエンドには保護ポリシーが定義されているが、そのポリシーに準拠していない • 「none」 - ストレージバックエンドは保護されていません • 「不明」 - ストレージバックエンド保護ポリシー適合性を判断できない • enum: ["protected", "partial", "none", "unknown"] • 例：protected
protectionStateUnready	array[string]	True	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、保護ポリシーが規格に適合していない理由を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127
機能	"機能"	True	このストレージバックエンドの機能を含むJSONオブジェクト。

Name	を入力します	必須	説明
ontap	"ontap"	False	ONTAPクラスタに関連する特定の情報を含むJSONオブジェクト。 • additionalProperties : false
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-storageBackend",
  "version": "1.3",
  "id": "04ad4237-3c89-5ca5-8a40-282ab5eb6428",
  "backendName": "st1-45",
  "backendType": "ontap",
  "backendVersion": "9.8",
  "backendCredentialsName": "st1-45-cred",
  "state": "running",
  "stateUnready": [],
  "managedState": "managed",
  "managedStateUnready": [],
  "protectionState": "unknown",
  "protectionStateUnready": [
    "Waiting for storage backend discovery"
  ],
  "ontap": {
    "authenticationStyle": "basic",
    "backendManagementIP": "10.193.179.105",
```

```

    "managementIPs": [
      "10.193.188.110",
      "10.193.179.105",
      "10.193.179.106"
    ]
  },
  "capabilities": {
    "flexClone": "true",
    "snapMirror": "true",
    "s3": "true"
  },
  "metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
  }
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}

```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディ フィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディ フィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with"
```

```
an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
```

```

    "title": "Collection not found",
    "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
    "status": "404"
  }

```

用語の意味

▼ 定義を参照

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

機能

このストレージバックエンドの機能を含むJSONオブジェクト。

Name	を入力します	必須	説明
flexClone	string	True	このストレージバックエンドがFlexCloneをサポートしているかどうかを示すJSON文字列。
snapMirror	string	True	このストレージバックエンドがSnapMirrorをサポートしているかどうかを示すJSON文字列。

Name	を入力します	必須	説明
s3を使用したチャンク アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	True	このストレージバックエンドがs3をサポートしているかどうかを示すJSON文字列。

ontap

ONTAPクラスタに関連する特定の情報を含むJSONオブジェクト。

Name	を入力します	必須	説明
authenticationStyle	string	True	ONTAP認証がユーザ名とパスワードの組み合わせまたは証明書を使用して実行されるかどうかを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「basic」 - ユーザー名/パスワードを使用します 「certificate」 - 証明書を使用する - 列挙型：["basic", "certificate"] - 例：基本
backendManagementIP	string	False	このONTAPクラスタへの接続に使用されるIPアドレスを含むJSON文字列。
managementIP	array[string]	False	このONTAPクラスタへの接続に使用される、すべての管理IPのリストを含むJSON文字列のJSON配列。これは、Tridentで検出されたバックエンドとAstraのストレージバックエンドを関連付けるために使用されます。 uniqueItems：1

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前

Name	を入力します	必須	説明
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

すべてのストレージバックエンドを一覧表示します

GET /accounts/{account_id}/topology/v1/storageBackends

コレクション内の一致するすべてのリソースのJSON配列を返します。リクエストで個別のフィールドが指定されている場合、アイテムのJSON配列には、一致する各リソースに対して要求されたフィールドが、指定された順序で含まれます。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: <code>{{.Account}}</code>
含める	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に、どのフィールドを返すかを指定します。 URLの例 : <code>"include=id"、"include=id,name"</code> OpenAPI の例: <code>"id"</code> • 例: <code>id、name、state</code>

Name	を入力します	入力	必須	説明
制限 (Limit)	string	query	False	コレクションを一覧表示する際に返されるリソースの最大数を示します。 URLの例: "limit=2" OpenAPI の例: "2"

応答

Status: 200, Returns a JSON array of all matching resources in the collection. If individual fields are specified in the request, the items JSON array will contain the fields requested for each matching resource in the order specified.

Name	を入力します	必須	説明
項目	配列[いずれか : "storageBackend_1.3_get_response_body"、配列[]]	True	
メタデータ	"type_astra_metadata_list"	True	

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-storageBackends",
  "version": "1.3",
  "items": [
    [
      "d6ee1e51-d65f-415a-a3d4-6d7fa8b64943",
      "st1-45",
      "running"
    ],
    [
      "a5c508b7-aacd-4d19-9455-53c0d183ab4e",
      "st2-67",
      "discovered"
    ]
  ],
  "metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
  }
}
```

```
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
  }
}
```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

機能

このストレージバックエンドの機能を含むJSONオブジェクト。

Name	を入力します	必須	説明
flexClone	string	True	このストレージバックエンドがFlexCloneをサポートしているかどうかを示すJSON文字列。
snapMirror	string	True	このストレージバックエンドがSnapMirrorをサポートしているかどうかを示すJSON文字列。
s3を使用したチャンクアップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	True	このストレージバックエンドがs3をサポートしているかどうかを示すJSON文字列。

ontap

ONTAPクラスタに関連する特定の情報を含むJSONオブジェクト。

Name	を入力します	必須	説明
authenticationStyle	string	True	ONTAP認証がユーザ名とパスワードの組み合わせまたは証明書を使用して実行されるかどうかを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「basic」 - ユーザー名/パスワードを使用します 「certificate」 - 証明書を使用する - 列挙型：["basic", "certificate"] - 例：基本
backendManagementIP	string	False	このONTAPクラスタへの接続に使用されるIPアドレスを含むJSON文字列。
managementIP	array[string]	False	このONTAPクラスタへの接続に使用される、すべての管理IPのリストを含むJSON文字列のJSON配列。これは、Tridentで検出されたバックエンドとAstraのストレージバックエンドを関連付けるために使用されます。 uniqueItems：1

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

storageBackend_1.3_get_response_body

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： 「application/astra-storageBackend」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： "1.0" "1.1" "1.2" "1.3"
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： UUIDv4スキーマに準拠
backendName	string	True	ストレージバックエンドのユーザー指定名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： - 最小長さ：1 - 最大長さ：63

Name	を入力します	必須	説明
backendType	string	True	表現されているストレージバックエンドのタイプを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「ontap」 - ストレージバックエンドはNetApp ONTAPシステムを表します • enum: ["ontap"] • 例：ONTAP
backendVersion	string	True	表現対象のストレージバックエンドのバージョンを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
backendCredentialsName	string	True	ストレージバックエンドで使用される1つ以上の認証情報リソースの名前を示す値を含むJSON文字列。複数の認証情報オブジェクトが同じ名前を持つ場合に、認証情報のローテーションを可能にします。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
configVersion	string	False	ストレージバックエンドで使用されるアクティブな構成を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	True	ストレージバックエンドの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「検出済み」 - ストレージバックエンドが管理対象クラスタから検出されました • 「running」 - ストレージバックエンドは正常に動作しています • 「不明」 - ストレージバックエンドの状態を判断できません • 「failed」 - ストレージバックエンドが利用できない状態です
stateDesired	string	False	ストレージバックエンドの望ましい動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「実行中」 - ストレージバックエンドは通常の実行状態になります
stateUnready	array[string]	True	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、ストレージバックエンドが「実行中」に移行できない理由、「失敗」または「不明」に移行した理由、および/または「失敗」に移行する危険性がある理由を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
managedState	string	True	ストレージバックエンドの管理状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - ストレージバックエンドは、検出または追加される予定です。 • 「管理対象外」 - ストレージバックエンドは「検出済み」状態であり、管理対象外ですが、管理対象にすることができます • 「managed」 - ストレージバックエンドは「running」または「unknown」の状態であり、管理下にあります。
managedStateUnready	array[string]	True	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、ストレージバックエンドが管理対象外である理由を示しています。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	False	ストレージバックエンドの健全性状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため） • 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。 • 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。 • 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない
healthStateUnready	array[string]	False	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、ストレージバックエンドが正常な状態にない理由を示しています。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
protectionState	string	True	ストレージバックエンドの保護状態を示す値を含むJSON文字列。ONTAPの場合は「unknown」。定義された値は次のとおりです： • 「保護されている」 - ストレージバックエンドには保護ポリシーが定義されており、そのポリシーに準拠している • 「部分的」 - ストレージバックエンドには保護ポリシーが定義されているが、そのポリシーに準拠していない • 「none」 - ストレージバックエンドは保護されていません • 「不明」 - ストレージバックエンド保護ポリシー適合性を判断できない • enum: ["protected", "partial", "none", "unknown"] • 例：protected
protectionStateUnready	array[string]	True	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、保護ポリシーが規格に適合していない理由を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127
機能	"機能"	True	このストレージバックエンドの機能を含むJSONオブジェクト。

Name	を入力します	必須	説明
ontap	"ontap"	False	ONTAP クラスタに関連する特定の情報を含むJSONオブジェクト。 • additionalProperties : false
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

type_astra_metadata_list

Name	を入力します	必須	説明
続行	string	False	
カウント	番号	False	
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

ストレージバックエンドを取得する

GET /accounts/{account_id}/topology/v1/storageBackends/{storageBackend_id}

JSONレスポンスボディに格納されたStorage Backend APIリソースを返します。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
storageBackend_id	string	path (パス)	True	storageBackend コレクションをリストする ID

応答

Status: 200, Returns the stored Storage Backend API resource in the JSON response body.

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • 「application/astra-storageBackend」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2" • "1.3"
ID	string	True	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠

Name	を入力します	必須	説明
backendName	string	True	ストレージバックエンドのユーザー指定名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
backendType	string	True	表現されているストレージバックエンドのタイプを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「ontap」 - ストレージバックエンドはNetApp ONTAPシステムを表します • enum: ["ontap"] • 例：ONTAP
backendVersion	string	True	表現対象のストレージバックエンドのバージョンを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
backendCredentialsName	string	True	ストレージバックエンドで使用される1つ以上の認証情報リソースの名前を示す値を含むJSON文字列。複数の認証情報オブジェクトが同じ名前を持つ場合に、認証情報のローテーションを可能にします。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

Name	を入力します	必須	説明
configVersion	string	False	ストレージバックエンドで使用されるアクティブな構成を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
状態	string	True	ストレージバックエンドの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「検出済み」 - ストレージバックエンドが管理対象クラスタから検出されました • 「running」 - ストレージバックエンドは正常に動作しています • 「不明」 - ストレージバックエンドの状態を判断できません • 「failed」 - ストレージバックエンドが利用できない状態です
stateDesired	string	False	ストレージバックエンドの望ましい動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「実行中」 - ストレージバックエンドは通常の実行状態になります

Name	を入力します	必須	説明
stateUnready	array[string]	True	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、ストレージバックエンドが「実行中」に移行できない理由、「失敗」または「不明」に移行した理由、および/または「失敗」に移行する危険性がある理由を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127
managedState	string	True	ストレージバックエンドの管理状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - ストレージバックエンドは、検出または追加される予定です。 • 「管理対象外」 - ストレージバックエンドは「検出済み」状態であり、管理対象外ですが、管理対象にすることができます • 「managed」 - ストレージバックエンドは「running」または「unknown」の状態であり、管理下にあります。
managedStateUnready	array[string]	True	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、ストレージバックエンドが管理対象外である理由を示しています。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	False	ストレージバックエンドの健全性状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため） • 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。 • 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。 • 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない
healthStateUnready	array[string]	False	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、ストレージバックエンドが正常な状態にない理由を示しています。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
protectionState	string	True	ストレージバックエンドの保護状態を示す値を含むJSON文字列。ONTAPの場合は「unknown」。定義された値は次のとおりです： • 「保護されている」 - ストレージバックエンドには保護ポリシーが定義されており、そのポリシーに準拠している • 「部分的」 - ストレージバックエンドには保護ポリシーが定義されているが、そのポリシーに準拠していない • 「none」 - ストレージバックエンドは保護されていません • 「不明」 - ストレージバックエンド保護ポリシー適合性を判断できない • enum: ["protected", "partial", "none", "unknown"] • 例：protected
protectionStateUnready	array[string]	True	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、保護ポリシーが規格に適合していない理由を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127
機能	"機能"	True	このストレージバックエンドの機能を含むJSONオブジェクト。

Name	を入力します	必須	説明
ontap	"ontap"	False	ONTAPクラスタに関連する特定の情報を含むJSONオブジェクト。 • additionalProperties : false
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	True	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： • Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ 回答例

```
{
  "type": "application/astra-storageBackend",
  "version": "1.3",
  "id": "04ad4237-3c89-5ca5-8a40-282ab5eb6428",
  "backendName": "st1-45",
  "backendType": "ontap",
  "backendVersion": "9.8",
  "backendCredentialsName": "st1-45-cred",
  "state": "discovered",
  "stateUnready": [],
  "managedState": "unmanaged",
  "managedStateUnready": [],
  "protectionState": "unknown",
  "protectionStateUnready": [
    "Waiting for storage backend discovery"
  ],
  "capabilities": {
    "flexClone": "true",
    "snapMirror": "true",

```

```

    "s3": "true"
  },
  "ontap": {
    "authenticationStyle": "basic",
    "backendManagementIP": "10.193.179.105",
    "managementIPs": [
      "10.193.188.110",
      "10.193.179.105",
      "10.193.179.106"
    ]
  },
  "metadata": {
    "labels": [],
    "creationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "modificationTimestamp": "2022-10-06T20:58:16.305662Z",
    "createdBy": "8f84cf09-8036-51e4-b579-bd30cb07b269"
  }
}

```

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```

{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}

```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/2",
  "title": "Collection not found",
  "detail": "The collection specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

機能

このストレージバックエンドの機能を含むJSONオブジェクト。

Name	を入力します	必須	説明
flexClone	string	True	このストレージバックエンドがFlexCloneをサポートしているかどうかを示すJSON文字列。
snapMirror	string	True	このストレージバックエンドがSnapMirrorをサポートしているかどうかを示すJSON文字列。
s3を使用したチャック アップロード署名要求がサポートされるようになりました。	string	True	このストレージバックエンドがs3をサポートしているかどうかを示すJSON文字列。

ontap

ONTAPクラスタに関連する特定の情報を含むJSONオブジェクト。

Name	を入力します	必須	説明
authenticationStyle	string	True	ONTAP認証がユーザ名とパスワードの組み合わせまたは証明書を使用して実行されるかどうかを示すJSON文字列。定義された値は次のとおりです： 「basic」 - ユーザー名/パスワードを使用します 「certificate」 - 証明書を使用する - 列挙型：["basic", "certificate"] - 例：基本
backendManagementIP	string	False	このONTAPクラスタへの接続に使用されるIPアドレスを含むJSON文字列。
managementIP	array[string]	False	このONTAPクラスタへの接続に使用される、すべての管理IPのリストを含むJSON文字列のJSON配列。これは、Tridentで検出されたバックエンドとAstraのストレージバックエンドを関連付けるために使用されます。 uniqueItems：1

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

ストレージバックエンドを変更する

PUT /accounts/{account_id}/topology/v1/storageBackends/{storageBackend_id}

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

副作用

- 構成バージョンを指定すると、ストレージバックエンドのタイプ固有の構成変更が適用されます。これには、ストレージバックエンドの初期インストールが含まれる場合があります。
- 構成バージョンを指定すると、storageClassリソースが追加、変更、または削除される可能性があります。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
storageBackend_id	string	path (パス)	True	storageBackend コレクションをリストする ID

要求の本文

保存されているリソース全体を、指定されたJSONリクエストボディに置き換えますが、ユーザーが変更できないキー値は保持します。

副作用

- 構成バージョンを指定すると、ストレージバックエンドのタイプ固有の構成変更が適用されます。これには、ストレージバックエンドの初期インストールが含まれる場合があります。
- 構成バージョンを指定すると、storageClassリソースが追加、変更、または削除される可能性があります。

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	リソースのメディアタイプ。定義された値は次のとおりです： • 「application/astra-storageBackend」
バージョン	string	True	リソースのバージョン。定義された値は次のとおりです： • "1.0" • "1.1" • "1.2" • "1.3"
ID	string	False	リソースのグローバル意識別子。定義された値は次のとおりです： • UUIDv4スキーマに準拠
backendName	string	False	ストレージバックエンドのユーザー指定名を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
backendType	string	False	表現されているストレージバックエンドのタイプを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「ontap」 - ストレージバックエンドはNetApp ONTAPシステムを表します • enum: ["ontap"] • 例：ONTAP

Name	を入力します	必須	説明
backendVersion	string	False	表現対象のストレージバックエンドのバージョンを示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
backendCredentialsName	string	False	ストレージバックエンドで使用する1つ以上の認証情報リソースの名前を示す値を含むJSON文字列。複数の認証情報オブジェクトが同じ名前を持つ場合に、認証情報のローテーションを可能にします。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63
configVersion	string	False	ストレージバックエンドで 사용되는アクティブな構成を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：63

Name	を入力します	必須	説明
状態	string	False	ストレージバックエンドの動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： ・「検出済み」 - ストレージバックエンドが管理対象クラスタから検出されました ・「running」 - ストレージバックエンドは正常に動作しています ・「不明」 - ストレージバックエンドの状態を判断できません ・「failed」 - ストレージバックエンドが利用できない状態です
stateDesired	string	False	ストレージバックエンドの望ましい動作状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： ・「実行中」 - ストレージバックエンドは通常の実行状態になります
stateUnready	array[string]	False	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、ストレージバックエンドが「実行中」に移行できない理由、「失敗」または「不明」に移行した理由、および/または「失敗」に移行する危険性がある理由を示します。定義された値は次のとおりです： ・ 最小長さ：1 ・ 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
managedState	string	False	ストレージバックエンドの管理状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「pending」 - ストレージバックエンドは、検出または追加される予定です。 • 「管理対象外」 - ストレージバックエンドは「検出済み」状態であり、管理対象外ですが、管理対象にすることができます • 「managed」 - ストレージバックエンドは「running」または「unknown」の状態であり、管理下にあります。
managedStateUnready	array[string]	False	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、ストレージバックエンドが管理対象外である理由を示しています。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
healthState	string	False	ストレージバックエンドの健全性状態を示す値を含むJSON文字列。定義された値は次のとおりです： • 「不確定」 - リソースの状態を判断できません（例えば、接続不良のため） • 「normal」 - リソースに既知の問題はなく、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できます。 • 「警告」：このリソースには既知の問題がありますが、インターフェース仕様に従ってサービスを提供することに支障はありません。 • 「重大」 - リソースに既知の問題があり、インターフェース仕様に従ってサービスを提供できない
healthStateUnready	array[string]	False	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、ストレージバックエンドが正常な状態にない理由を示しています。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127

Name	を入力します	必須	説明
protectionState	string	False	ストレージバックエンドの保護状態を示す値を含むJSON文字列。ONTAPの場合は「unknown」。定義された値は次のとおりです： • 「保護されている」 - ストレージバックエンドには保護ポリシーが定義されており、そのポリシーに準拠している • 「部分的」 - ストレージバックエンドには保護ポリシーが定義されているが、そのポリシーに準拠していない • 「none」 - ストレージバックエンドは保護されていません • 「不明」 - ストレージバックエンド保護ポリシー適合性を判断できない • enum: ["protected", "partial", "none", "unknown"] • 例：protected
protectionStateUnready	array[string]	False	JSON文字列のJSON配列。各文字列は、保護ポリシーが規格に適合していない理由を示します。定義された値は次のとおりです： • 最小長さ：1 • 最大長さ：127
ontap	"ontap"	False	ONTAPクラスタに関連する特定の情報を含むJSONオブジェクト。 • additionalProperties : false

Name	を入力します	必須	説明
メタデータ	"type_astra_metadata_update"	False	リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです： Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

▼ リクエスト例

```
{
  "type": "application/astra-storageBackend",
  "version": "1.3",
  "backendName": "st1-46"
}
```

応答

Status: 204, Indicates if the storageBackend resource was updated.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	

Name	を入力します	必須	説明
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 409, Conflict

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidFields	配列["invalidFields"]	False	無効なリクエストボディフィールドのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/10",
  "title": "JSON resource conflict",
  "detail": "The request body JSON contains a field that conflicts with an idempotent value.",
  "status": "409"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

ontap

ONTAPクラスタに関連する特定の情報を含むJSONオブジェクト。

Name	を入力します	必須	説明
backendManagementIP	string	False	このONTAPクラスタへの接続に使用されるIPアドレスを含むJSON文字列。
manag理IP	array[string]	False	このONTAPクラスタへの接続に使用される、すべての管理IPのリストを含むJSON文字列のJSON配列。これは、Tridentで検出されたバックエンドとAstraのストレージバックエンドを関連付けるために使用されます。 • uniqueItems : 1

type_astra_label

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	
Value	string	True	

type_astra_metadata_update

リソースに関連付けられた、クライアントおよびサービス指定のメタデータ。定義された値は次のとおりです：

- Astra メタデータスキーマに準拠します。作成時に指定しない場合、ラベルのないメタデータオブジェクトが作成されます。更新時に指定されていない場合、メタデータオブジェクトのラベル、creationTimestamp および createdBy は、変更なしで保持されます。

Name	を入力します	必須	説明
ラベル	配列["type_astra_label"]	False	
作成タイムスタンプ	string	False	
modificationTimestamp	string	False	
作成者	string	False	
modifiedBy	string	False	

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

invalidFields

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なリクエストボディフィールドの名前
理由	string	True	リクエスト本文フィールドが無効な理由

ストレージバックエンドを削除

DELETE /accounts/{account_id}/topology/v1/storageBackends/{storageBackend_id}

指定された Storage Backend API リソースを削除します。

副作用

- ストレージバックエンドに関連付けられたすべてのbackendConfigリソースが削除されます。

- ストレージバックエンドに関連付けられたすべてのbackendNodeリソースが削除されます。
- ストレージバックエンドが削除される可能性があります。

パラメータ

Name	を入力します	入力	必須	説明
account_id	string	path (パス)	True	包含するアカウントリソースのID • 例: {{.Account}}
storageBackend_id	string	path (パス)	True	storageBackend コレクションをリストする ID

応答

Status: 204, Indicates if the storageBackend resource was deleted.

応答

Status: 401, Unauthorized

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/3",
  "title": "Missing bearer token",
  "detail": "The request is missing the required bearer token.",
  "status": "401"
}
```

応答

Status: 400, Bad request

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	
invalidParams	配列["invalidParams"]	False	無効なクエリパラメータのリスト

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/5",
  "title": "Invalid query parameters",
  "detail": "The supplied query parameters are invalid.",
  "status": "400"
}
```

応答

Status: 403, Forbidden

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ 回答例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/11",
  "title": "Operation not permitted",
  "detail": "The requested operation isn't permitted.",
  "status": "403"
}
```

エラー

Status: 404, Not found

Name	を入力します	必須	説明
を入力します	string	True	
タイトル	string	True	
詳細	string	True	
ステータス	string	True	
correlationID	string	False	

▼ エラー応答の例

```
{
  "type": "https://astra.netapp.io/problems/1",
  "title": "Resource not found",
  "detail": "The resource specified in the request URI wasn't found.",
  "status": "404"
}
```

用語の意味

▼ 定義を参照

invalidParams

Name	を入力します	必須	説明
名前	string	True	無効なクエリパラメータの名前
理由	string	True	クエリパラメータが無効な理由

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。